

企業紹介

株式会社富士クリーン 部署紹介

～ 水質管理部 水質管理課 ～

株式会社富士クリーン（所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場太一郎）は 1974 年に創業し、49 年間廃棄物処理に携わってまいりました。このたびはその富士クリーンで働く社員（チーム）を紹介したいと思います。今回紹介するのは『水質管理部 水質管理課』です。

■ 浸出水処理施設とは

浸出水処理施設とは、管理型最終処分場内の廃棄物にふれた浸出水（汚水）を集めて、放流基準まで処理を行う施設です。中でも管理型最終処分場は、厳格な排水管理が求められるため浸出水処理施設が設けられています。

当社浸出水処理施設の特徴は、処理水を外部に一切放流しない『クローズドシステム』です。施設では 200 m³/日の浸出水の処理を行い、処理水は主に焼却施設のガス冷却水として利用しています。

処理水は施設外へ放流はしないものの、1 回/月の水質分析を行い、法令等の規制項目・規制値より厳しい自社基準を定めて運営管理を実施しています。



富士クリーン 浸出水処理施設

■ 富士クリーン水処理システム

当社浸出水処理施設では、FFE（薄膜流下式蒸発装置）とアンモニアコンセントレーターを併用する画期的システムを採用し、限りなく自然に近い『水』に還しています。

FFE は、高濃度かつ大幅に水質変動する汚水を、蒸気式過熱管の内部に薄膜状にして流下させることにより、効率的に水分を蒸発させ、清澄な水として回収する装置です。アンモニアコンセントレーター設備では、アンモニアを含んだ処理水を蒸留し、濃縮安水としてアンモニアを回収、NOx の抑制剤として利用しています。

この水処理システムは、薬品による処理を最小限にとどめ、できる限りシンプルに、自然に近い状態に還すことを基本思想としています。



（左）処理水

（右）浸出水

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン （087-878-3111） soumu@fujicl.com

■ 水質管理課の業務とは



【プラントの運転管理作業】

浸出水処理施設内にある監視室では、浸出水を浄化する設備の運転管理・監視を行っています。

数値等の異常やトラブルを早期に発見し、慌てず迅速に対応できるように日々心がけています。



【プラントの維持管理作業】

安定して設備の運転ができるよう、機器の点検や数値の確認を日々行っています。水質分析の変化に応じて運転方法を変更しています。

また、ポンプ、配管などの定期メンテナンスも自分達の手で行っています。

■ チームとして目指すこと

廃棄物処理の最後の砦である浸出水処理施設が停止すると管理型最終処分場への廃棄物の受け入れができなくなります。

私たちはトラブルを未然に防ぐため、日々の点検や整備、プラントの管理業務を大切にしています。今後は、他施設との連携を強化しつつ、より安定したエネルギーコストの削減ができるようチーム全員で努めていきます。



水質管理部 水質管理課の社員たち

今回は『水質管理部 水質管理課』を紹介させていただきましたが、今後その他の施設も随時紹介していきたいと思っています。また、施設見学も随時受け付けておりますので、どなたでもお気軽にＨＰの申し込み画面よりお申込みいただければ幸いです。

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com